

「根の研究の最前線 5」の発刊とシリーズ頒価改訂のお知らせ

『根の研究の最前線 5』

2005年3月 根研究会刊 (編集責任者: 森田茂紀・阿部 淳)

ISBN: 4-931358-12-8 B5版 2段組 158頁

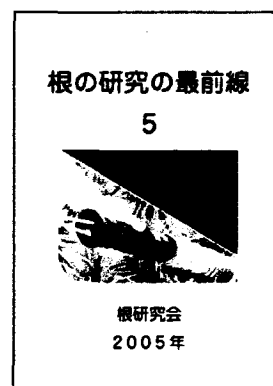
頒布申込先: 根研究会事務局 E-mail: neken2005@jsrr.jp

頒価: 会員 2,000円, 非会員 3,000円 (送料別)

『農業および園芸』に連載中の「植物の根に関する諸問題」のうち、2003年1月号から2004年12月号に掲載された、合計24回分を取りまとめたものです。

次ページの収録論文一覧をご参照下さい。

表紙写真: ミニリゾトロン (CI-600 Root Scanner, CID, Inc.) による水稻の根の観察  
写真提供: 小林和彦・長谷部寛 (東京大学)



総説集ですので、根に関する各分野の研究を俯瞰するのに最適です。

第1巻-第4巻も併せてご活用下さい。一部、頒価を改定しました。

【頒価: 2005年2月24日改訂】

<根の研究の最前線 1-5巻のセット頒布>

会員頒価: 8,000円 (送料別) 非会員頒価: 11,000円 (送料別)

<1, 2, 3巻 各単体>

会員頒価: 1,500円 (送料別) 非会員頒価: 2,000円 (送料別)

1, 2 は表紙に汚れ・傷がついていることが多々あります。ご容赦下さい。

<4, 5巻 各単体>

会員頒価: 2,000円 (送料別) 非会員頒価: 3,000円 (送料別)

※送料の目安: 1冊=290円, 2冊=340円, 3冊-5冊=450円

※公費購入や、非会員でこの機会にあわせて入会をご希望の方は、その旨お書き添え下さい。

※1-4巻の収録論文は、ホームページ (<http://www.jsrr.jp>) の出版物案内をご覧下さい。

【頒布申込先】根研究会事務局 E-mail: neken2005@jsrr.jp Fax: (052)872-5867 (谷本研気付)

**連載「植物の根に関する諸問題」の執筆者募集!**

月刊誌『農業および園芸』(養賢堂)に、リレー方式で連載しています。すでに12年近く続き、140回を越え、現在も続いています。ご自身の近年の研究(既報のものも可)を中心にした解説や、あるテーマに関する文献を集めての紹介など、刷り上り5-6ページ(1万字前後)の総説の執筆者を募集中です。発行後に、養賢堂より謝礼(原稿料)が支払われます。『農業および園芸』については、<http://www.yokendo.com/journal/jul.htm> をご参照下さい。

この連載に関する連絡先: 森田 ([anatomy@fm.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:anatomy@fm.a.u-tokyo.ac.jp)), 阿部 ([junabe@agrobio.jp](mailto:junabe@agrobio.jp))

## 根の研究の最前線 5 収録論文

(冒頭の数字は『農業および園芸』での連載の番号です)

114. 根系の形態を規定している根の傾斜重力屈性 (伊藤香織・森田茂紀・阿部 淳・稲永忍)
115. 過湿条件に対するダイズ根系の形態的適応 (古林秀峰・阿部 淳・森田茂紀)
116. 低酸素濃度ストレスと根 (仁木輝緒)
117. 水稻の乳苗移植栽培における本田の根系形成 (阿部 淳・折谷隆志・森田茂紀・萩沢芳和)
118. 作物根系の水吸収・輸送構造 (市川里紗・山内 章)
- \* 11年目に入る連載「植物の根に関する諸問題」(森田茂紀)
119. 都市緑化と根系の生育 (山本幹雄)
120. 根の水透過性 (宮本直子)
121. アルミニウムの細胞毒性と耐性機構 (山本洋子)
122. 硝酸イオン吸収研究の発展 (長谷川博)
123. 水稻の冠根原基の形成部位を把握するための“単位”とその応用例 (新田洋司)
124. 側根の生育に対する土壌水分・窒素条件ならびに体内条件の影響 (田中丸耕治・森田茂紀・阿部 淳・稲永 忍)
125. 境界細胞(Root border cells)の生態的意義 (飯嶋盛雄)
126. マングローブ林の地下に眠る怪物, 根の現存量と炭素蓄積 (小見山章)
127. 高濃度 CO<sub>2</sub> 条件下における水稻根系の形態と機能 (境垣内岳雄・森田茂紀・阿部 淳)
128. オーキシシンによる側根形成の誘導 (犬飼義明)
129. 養液栽培におけるトマト根系の環境応答 (中野有加)
130. 水透過性の分子機構: 根における水チャンネル・アクアポリンの機能 (且原真木)
131. 植物スプリンクラー機能: Hydraulic lift の活用 (関谷信人・矢野勝也)
132. マメ科作物の個体レベルの窒素固定能と根系形成・根粒形成との関係 (田島亮介・森田茂紀・阿部 淳)
133. 養液栽培における根部病害の防除と根圏微生物群の役割 (峯 洋子)
134. 植物の難溶性リン利用能と菌根共生系の関与 (矢野勝也)
135. 水稻の疎植栽培における出液速度と収量および品質との関係 (大橋善之)
136. 根が土壌中の生物に及ぼす影響(長期圃場試験による異分野交流) (辻 博之)
137. 接触施肥に対するコムギとダイズの根系発達 (二瓶直登・中西友子)

根の研究の最前線 1-4 に収録の論文一覧は、根研究会ホームページの「根研究会の出版物 - 根研究会の和文単行本」のコーナーをご覧ください。 <http://www.jsrr.jp>